

2023年3月27日

各位

会社名 株式会社 東京通信
代表者名 代表取締役社長CEO 古屋 佑樹
(コード番号：7359 東証グロース市場)
問合せ先 取締役 CFO 赤堀 政彦
(TEL. 03-6452-4523)

ChatGPTの活用における当社方針に関するお知らせ

当社は、ChatGPTを既存事業の拡大や新規事業の創造のために積極的に活用していく方針となりましたので、以下のとおりお知らせいたします。

1. 本件の背景及び経緯

2020年以降、新型コロナウイルスの流行の影響でデジタルトランスフォーメーションが加速しました。多くの企業がリモートワークを導入し、従業員は様々なSaaS (Software as a Service) サービスを利用しながら、業務を遂行することができるようになり、通勤時間が削減され、労働生産性が向上しました。その結果、人々の余暇の時間は増加し、その消費対象としてメタバースやWeb3.0によってエンターテインメントの拡張が期待されます。これにより、クリエイターエコノミーが進行し、従来型の労働に参画する人口が減少することで、AI活用による省人化したビジネスモデルが求められると予想されます。

こうした環境下で、当社は既存事業の拡大や新規事業の創造のために、ChatGPTを積極的に活用していくことで、省人化したビジネスモデルの構築を行い、早期に企業価値を向上していく方針となりました。

2. 当社の現時点における取り組み内容

当社は本方針を踏まえ、新しい福利厚生サービスとして、全従業員を対象に「ChatGPT Plus」の月額利用料を全額補助することとしました。従業員一人一人がAI技術をいち早く活用することで、業務効率化や創造力向上に繋げることを図ります。AI活用によるイノベーションは、技術者だけでなく、事務や法務、事業開発を担うメンバーも日々の業務から発想できる可能性があるため、エンジニアやデザイナー、バックオフィス、事業開発など全ての職種を対象としております。

3. ChatGPT活用の現状の構想案の一例

① ChatGPTによるゲーム開発の高速化

ChatGPTを用いることで、自然言語でゲームの設計やストーリーを入力することができ、また、テストケースの記述方法や観点を理解し、開発者が手動でテストケースを作成する必要がなくなります。これにより、より早いゲームの開発フローの構築が期待されます。

② OWN. パーソナルトレーニングにおけるChatGPTの活用

ChatGPTを用いることで、ダイエット等に関連するユーザーの質問や疑問に迅速に回答することができ、また、継続性が求められるトレーニングや食事管理におけるモチベーションの維持・向上の役割が期待されます。

③ ChatGPTの活用によるバーチャルキャラクターの作成

ChatGPTを用いることで、与えられた外見や性格の設定に基づいて、メタバース等で活用されるバーチャルキャラクターを生成できると期待されます。

④ ChatGPTの活用による新たなシナリオゲーム・会話型コンテンツの生成

ChatGPTを用いることで、与えられたテーマやジャンルに基づいて、リアルなストーリーやシナリオを生成できると期待されます。

⑤ ChatGPTの活用にした音声コンテンツの生成

ChatGPTを用いることで、音声コンテンツに必要なシナリオライティングを与えられたテーマに基づいて生成し、それと音声合成技術を組み合わせることで、音声コンテンツを生成できると期待されます。

4. ChatGPTの概要

ChatGPTは、OpenAI社によって開発された大規模な言語モデルで、自然言語処理タスクを実行するためにトレーニングされた人工知能アルゴリズムです。ChatGPTは、会話や文章の生成、質問応答、文章要約、翻訳などのタスクに使用することができ、多数の文書や文章を学習することによって、自然言語のパターンを把握し、人工知能による自然言語生成に使用されます。

5. 今後の見通し

当社はChatGPTを既存事業の拡大や新規事業の創造のために積極的に活用していく方針であり、構想案等に進捗があり次第速やかに開示致します。なお、本件に伴う業績への影響は軽微となります。

以上